

1 開催概要（実績）

- (1) テーマ：パブリックな存在としての遺跡・遺産
- (2) 開催日時：平成24年(2012)12月21日(金) 13:00～17:45, 22日(土) 9:00～16:45
- (3) 開催場所：平城宮跡資料館講堂(奈良市佐紀町)
- (4) 事務局：奈良文化財研究所文化遺産部遺跡整備研究室
- (5) プログラム

平成24年(2012)12月21日(金)

- 趣旨説明** 遺跡等における「パブリック」ということについて
平澤 毅 (奈良文化財研究所文化遺産部)
- 基調講演 I** 遺跡管理における住民参加の意味を問う - 国際協力の現場から -
関 雄二 (国立民族学博物館/教授)
- 講演 1** 公共財としての遺産 - 歴史的建造物の公共性について -
ウーゴ・ミズコ (学習院大学/准教授)
- 講演 2** 遺跡・遺産は地域住民にどのように認知されるのか - ミクロネシア連邦ナン・マドール遺跡の事例 -
石村 智 (奈良文化財研究所国際遺跡研究室/研究員)
- 討論 a** 《遺跡・遺産におけるパブリック概念》
コーディネーター：松田 陽
パネリスト：関 雄二 / ウーゴ・ミズコ / 石村 智 / 平澤 毅

平成24年(2012)12月22日(土)

- 基調講演 II** パブリック、遺跡、遺産、文化財、考古学の関係について
松田 陽 (英国・イーストアングリア大学/講師)
 - 事例研究 1** 「パブリック」で考える歴史的市街地空間と人間の係わり方
- 世界遺産マラッカとジョージタウンの比較から -
張 漢賢 (鳥取環境大学/准教授)
 - 事例研究 2** 産業遺産の公共性：その価値は何から生じるのか？
岡田 昌彰 (近畿大学/准教授)
 - 事例研究 3** SEEDS of FURUSATO ～人々の心にある遺産～
土井 祥子 (公益財団法人日本ナショナルトラスト/主任研究員)
- * 講演・報告の要約 青木 達司 (奈良文化財研究所文化遺産部)
- 討論 b** 《パブリックな存在としての遺跡・遺産》
関 雄二 / ウーゴ・ミズコ / 石村 智
松田 陽 / 張 漢賢 / 岡田 昌彰 / 土井 祥子
司 会 : 平澤 毅

閉会挨拶 小野 健吉 (奈良文化財研究所/文化遺産部長)